

櫻坂を緩歩中

公立高校の出願変更制度

北海道の公立高校には「出願変更制度」があります。今号では、この制度について記します。

3年前の入試より、同一の課程において、当初出願した学科に関係なく、どの学科にも出願変更ができるようになりました。

そこで、これまで出願変更が出来なかった、

札幌国際情報高校理数工学科	→	札幌北陵高校（普通科）
札幌新川高校（普通科）	→	札幌国際情報高校グローバルビジネス科

といった出願変更も可能となります。

ただし、

札幌大通高校（定時制課程）	→	札幌東豊高校（全日制課程）
---------------	---	---------------

といった出願変更は、同一課程ではないので、できません。

※ 「保護者の経済状況が悪化し、生徒がアルバイト等で家計の負担を減らす必要がある。」
といった特別のケースのみ、「全日制→定時制」の出願変更が認められる場合があります。

出願変更の手続き（書類の持ち込み）は、本来、中学校側で行う業務ですが、（限られた人数の）教員で行った場合、授業を自習にするなどといった支障をきたします。そこで、できる限り、保護者の方に手続きをお願いしたいです。

その方法は、

A 札幌北陵高校（道立高校）	→	札幌東陵高校（道立高校）
B 札幌新川高校（市立高校）	→	札幌平岸高校（市立高校）

A、Bのように道立高校同士や市立高校同士の出願変更の場合は、当初出願した高校へ行き『出願変更願』を提出すれば、手続きは完了です。つまり、Aでは札幌北陵高校、Bでは札幌新川高校の1校へ行くことになります。

A、Bの場合、新たに受検料はかかりません。

ただし、高校間で書類のやりとりをするので、郵送料を切手で請求されるはずです。

Aでは490円分、Bでは530円分の切手を請求されるはずです。

C	札幌北陵高校（道立高校）	→	札幌平岸高校（市立高校）
D	札幌新川高校（市立高校）	→	札幌東陵高校（道立高校）

C、Dのように道立高校から市立高校や市立高校から道立高校への出願変更の場合は、当初出願した高校へ行き『出願変更願』を提出し、更に変更先の高校へ行き『入学願書』を提出します。

つまり、Cでは札幌北陵高校へ行った後、札幌平岸高校への2校に行くことになります。この場合、先に札幌平岸高校へ行くことはできません。

次に受検料に関してです。出願変更の段階では、受検は終了していません。そこで、新たに受検料は発生しませんが、道立（市立）高校から市立（道立）高校へ出願変更する場合、新たな『入学願書』が必要になるため、一旦、受検料（道立高校は「北海道収入証紙」、市立高校は「入学手数料」＝クレジット決済可）が必要となります。当初納めた受検料は、道（市）へ還付請求することにより返金されます。（市の方はクレジット決済を止められる場合があります。）

また、高校間で書類のやりとりをするので、郵送料を切手で請求されるはずです。

C、Dともに460円分の切手を請求されるはずです。

出願変更の受付期間は、令和8年1月27日（火）～2月2日（月）で受付時間は、9：00～16：30（2日は16：00まで）です。

本校では、1月28日（水）午前中と1月29日（木）午前中を出願変更実施日とさせていただきます。

出願変更前後のスケジュールをまとめると…

1月26日（月）	公立高校出願状況（倍率）の発表（10：00）
27日（火）	出願変更受付開始（9：00～）
28日（水）	<u>本校出願変更実施日</u> （午前中）
29日（木）	<u>本校出願変更実施日</u> （午前中）
2月2日（月）	出願変更受付終了（～16：00）
12日（木）	公立高校出願状況（倍率）の最終発表（10：00）

留意事項 ① 先に記したように道立（市立）高校から市立（道立）高校へ出願変更する場合、新たな『入学願書』が必要になります。

市立高校の願書は入力情報を申請後、印刷許可が出るまでに時間を要します。

市立高校側も「出願変更の場合、入力情報を申請後、極力急いで印刷許可するよう努力します。」と言ってくれてはおりますが、要注意です。道立高校から市立高校へ出願変更する場合は、出願変更実施日を1月29日（木）とした方が無難かもしれません。

② 出願変更の受付時間は9：00～16：30（最終日16：00）ですが、9：00に高校へ行くことはできません。保護者の方へ高校へ行っていただく前に中学校から高校へ一報（電話連絡）を入れますが、その連絡を入れてよい時刻が9：00からとなります。出願変更をする場合、実施日の午前中はゆとりをもってスケジュールをあけておいてください。